

| | | | | |
|---|---|--|--|-----------|
| 函館工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和06年度(2024年度) | 授業科目 | スポーツ科学Ⅴ |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0244 | 科目区分 | 一般 / 選択 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 生産システム工学科 | 対象学年 | 5 | |
| 開設期 | 後期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | | | | |
| 担当教員 | 清野 國安 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いショットを打つことができるようになる。 バドミントンの基本技術に加えて、ルール、戦術等の知識を理解し、試合で応用し実践できるようになる。 | | | | |
| ループリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 評価項目1 | 出欠席・授業態度と実技試験の合計の評価が80点以上である。 | 授業へ遅刻、欠席、見学することなく、安全に注意し、集中して熱心に授業に取り組むことができる。 | 遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まず、出欠席・授業態度と実技試験の合計の評価が60点に達しない | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 函館高専教育目標 A | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | これまでの授業内容からゴルフとバドミントンを取りあげ、競技するためのルール・プレーの知識等を説明し、そのうえで実技練習・試合を行う。 なお、授業内容が公知の情報のみに限定。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | 実技試験（30点）、出欠・見学・授業態度（70点）で評価する。 また、次に該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑をかける、集団行動を乱す等）があった場合は、程度によって減点する。 | | | |
| 注意点 | 出席、授業態度を重視する。 本科目は履修単位（1単位）の授業である。 体調管理に注意し、毎時間ケガのないように集中して授業に臨むこと。 | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 3rdQ | 1週 | ガイダンス ゴルフ | 今年度の授業の進め方等の説明 ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いスイングができる | |
| | 2週 | ゴルフ | ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いスイングができる | |
| | 3週 | ゴルフ | ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いスイングができる | |
| | 4週 | ゴルフ | ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いスイングができる | |
| | 5週 | ゴルフ | ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いスイングができる | |
| | 6週 | ゴルフ | ゴルフにおけるクラブとスイングの基本原理を理解し、効率の良いスイングができる | |
| | 7週 | ゴルフ | 実技試験 | |
| | 8週 | ゴルフ | 実技試験 | |
| 後期 | 9週 | バドミントン | サービス、フォアハンド及びバックハンドストロークにおける様々な技術を駆使してゲームを行うことができる | |
| | 10週 | バドミントン | サービス、フォアハンド及びバックハンドストロークにおける様々な技術を駆使してゲームを行うことができる | |
| | 11週 | バドミントン | サービス、フォアハンド及びバックハンドストロークにおける様々な技術を駆使してゲームを行うことができる | |
| | 12週 | バドミントン | サービス、フォアハンド及びバックハンドストロークにおける様々な技術を駆使してゲームを行うことができる | |
| | 13週 | バドミントン | サービス、フォアハンド及びバックハンドストロークにおける様々な技術を駆使してゲームを行うことができる | |
| | 14週 | バドミントン | 実技試験 | |
| | 15週 | | | |
| | 16週 | バドミントン | 実技試験 | |
| モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 | | | | |
| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル 授業週 |
| 評価割合 | | | | |

| | 実技試験 | 出席・授業態度 | | 合計 |
|---------|------|---------|---|-----|
| 総合評価割合 | 30 | 70 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 30 | 70 | 0 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |